

神経心理学的リハビリテーションの視察研修 2018



イギリス・オリバーザンウィルセンター&Headway

【専門領域に優れた通訳者が同行】



Rose (pixabay.com/Image)

訪問都市：イギリス/イ-リィ・ノーザンプトン・ロンドン

研修期間：2018年3月4日(日)～3月10日(土) 7日間

参加人員：20名(最少催行人員16名)

申込締切：2017年12月26日(火)

旅行代金：440,000円

(エコノミークラス・2名1室利用)

※旅行代金の他に燃油サーチャージ・現地空港税・
空港保険料等別途費用がかかります。



Cambridge (pixabay.com/Image)

同行解説：横浜市総合リハビリテーションセンター
機能訓練科 臨床心理士

山口 加代子 先生

研修企画：株式会社 リバティ・インターナショナル 東京都知事登録旅行業第3-3466号日本旅行業協会正会員

★★★ 研修のご案内 ★★★

神経心理学的リハビリテーションの先駆者であり、オリバーザンウィルセンターを設立されたB.A.ウィルソン先生と、センターのリーダーである、A.ベイトマン先生のご協力により、オリバーザンウィルセンターの視察研修が実現することになりました。センターでは、B.A.ウィルソン先生の講義や、支援の実際を見学させていただきます。また、高次脳機能障害者の方のケア施設“Headway”でも、実際の支援を見せていただきます。同行解説は横浜市総合リハビリテーションセンターで高次脳機能障害の方とご家族の支援に携わっておられる山口加代子先生にお願いしました。イギリスは歴史的建造物が残りつつ、最新のトレンドを発信し続ける大変魅力的な国です。特にロンドンからケンブリッジに向かう道は、田園風景と古い家が点在し、誰もが写真に残したいと思う景色が続きます。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

お問い合わせ リバティ・インターナショナル (一般社団法人 国際教育) ツアーコード#17-012 担当:金子/縄手
〒100-6509 東京都千代田区丸の内1-5-1 新丸の内ビル9階 EGG JAPAN Medical Odyssey 内
TEL: 03-6386-3865 FAX: 03-6386-3870 Email: info@iiet.co.jp URL: <http://www.iiet.co.jp>

「神経心理学的リハビリテーションの視察2018」パンフレット希望 Fax:03-6386-3870

フリガナ 名前	男 ・ 女	所属先名称	職業
(自宅・勤務先に○をしてください) フリガナ			
住所 〒			
電話番号()	Fax()	携帯番号()	
Eメール: @			

※この研修をお知になったのは? ご紹介 ダイレクトメール 広告 弊社P 講演会 その他



2018 イギリス視察研修日程表

2017/10/12 現在

日付	都 市	時 間	交通機関	スケジュール	食 事
1 3/4 (日)	成 田 ロンドン ニューマーケット	10:00 12:35 16:10	BA006 専用車	成田空港集合 日本出発、一路ロンドンへ ロンドンヒースロー空港到着、入国審査後ホテルへ移動 (所要約1時間半) ホテルチェックイン ＜ニューマーケット泊＞	朝 - 昼 機 夜 ×
2 3/5 (月)	ニューマーケット イーリイ	終 日	専用車	朝食後視察先へ(所要約30分) オリバーザンウィルセンター視察研修 Oliver Zangwill Centre (The Princess of Wales Hospital) Lynn Road, Ely, Cambridgeshire, CB6 1DN Tel: 01353 652165 Fax: 01353 652164 ～Andrew Bateman 博士による視察プログラム～ ・センターを設立した、Barbara Wilson 博士による神経学的 リハビリテーションについてのレクチャー ・センター概要、OZC の医療プログラム、事例、家族との 連携、スタッフとの交流、施設内見学、質疑応答など 終了後ホテルへ移動 ＜ニューマーケット泊＞	朝 ○ 昼 × 夜 ×
3 3/6 (火)	ニューマーケット	終 日	専用車	・センターを設立した、Barbara Wilson 博士による神経学的 リハビリテーションについてのレクチャー ・センター概要、OZC の医療プログラム、事例、家族との 連携、スタッフとの交流、施設内見学、質疑応答など 終了後ホテルへ移動 ＜ニューマーケット泊＞	朝 ○ 昼 × 夜 ×
4 3/7 (水)	ニューマーケット ノーザンプトン ロンドン	午 前 午 後	専用車	朝食後チェックアウト、視察先へ移動(所要約1時間15分) セントアンドリュースヘルスケア視察 St Andrew's Healthcare Cliftonville Road, Northampton NN1 5DG Tel: 01604 616000 各分野にまたがる専門スタッフによって構成されるチームにより、患 者さんが身体的、精神的、社会的に良好な状態に(家族も含め)回復 するため個々に計画された革新的プログラムに取り組んでいる。 ・概要、個別のリハビリテーションプログラム、チームの方との交流、 施設内見学、質疑応答など 終了後施設内カフェテリアで昼食後移動(所要約1時間30分) ヘッドウェイイーストロンドン視察 Headway East London Timber Wharf, 238-240, Kingsland Rd., London E2 8AX Tel: 020 7749 7790 脳損傷の方およびご家族の方へのサポートを行う組織。 ・施設概要、サービスの紹介、サービスユーザーへの面談 (必要な支援についてなど)、スタッフとの交流、施設見学、 質疑応答など 終了後ホテルチェックイン ＜ロンドン泊＞	朝 ○ 昼 × 夜 ×
5 3/8 (木)	ロンドン タッドワース ロンドン	午 前 午 後	専用車	朝食後、視察先へ移動(所要約50分) チルドレンズトラストタッドワース視察 The Children's Trust Tadworth Tadworth Court, Tadworth, Surrey, KT20 5RU Tel: 01737 365000 脳損傷をもつ子どもと家族のための慈善団体。脳損傷を 持つすべての子どもたちが、可能な限り最高の人生を送る ための研究をはじめ、サポートやケア、リハビリ、教育などに取り組 んでいる。 終了後ロンドンへ移動、自由視察 ※夕食は宿泊ホテル内またはホテルそばのレストランにて フェアウェルディナー(各自払い) ＜ロンドン泊＞	朝 ○ 昼 × 夜 ×
6 3/9 (金)	ロンドン	午 前 10:45	専用車 BA007	朝食後、チェックアウト、空港へ移動 ロンドンヒースロー空港出発、帰国の途へ ＜機中泊＞	朝 ○ 昼 × 夜 機
7 3/10 (土)	羽 田	07:30		羽田空港到着、一旦ロビーに集合、挨拶の後解散	朝 機

★利用航空会社: ブリティッシュエアウエイズ(BA) ★利用ホテル: Rutland Arms Hotel(ニューマーケット)、Ibis Earl's Court(ロンドン)

★食事: 朝食のみ ★交通機関: 空港-ホテル間及びホテル-視察先への往復は専用車を利用します

※視察先-訪問都市等のスケジュールは諸事情により変更となる場合があります。予めお含みおください。

※現地での集合時間・出発時間は、同行通訳にその都度ご確認ください。